



順天堂大学 男女共同参画推進室・女性研究者支援室

NEWS LETTER



Vol.56

2022年5月号

男女共同参画特別講演会

「医療、教育現場でのダイバーシティ～日米比較国際シンポジウム～」を開催しました

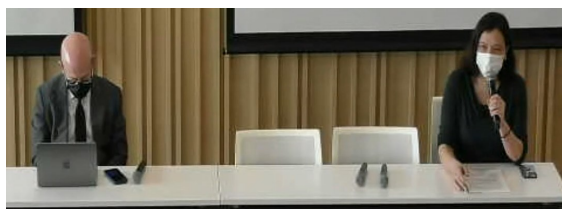
4月16日（土）に、当室委員・齋藤アンネ優子先生（放射線治療学講座(医学部附属浦安病院)）にアレンジいただき、「男女共同参画特別講演会『医療、教育現場でのダイバーシティ～日米比較国際シンポジウム～』」を開催いたしました。当日の様子について、齋藤先生よりレポートをお寄せいただきました。

・  齋藤アンネ優子先生より  ・

4月16日（土）、男女共同参画特別講演会「医療、教育現場でのダイバーシティ～日米比較国際シンポジウム～」を日本女性放射線腫瘍医の会の後援で開催いたしました。

米国メイヨークリニック放射線腫瘍科教授のKenneth R Olivier先生の基調講演のち、東京医科歯科大学脳神経外科の原祥子先生、順天堂放射線診断学教室の菊田潤子先生をお招きし、座長・司会を順天堂放射線治療学講座の齋藤アンネ優子が担当し、パネルディスカッションを行いました。

男女共同参画特別講演会
開催日時 2022年4月16日(土) 11:00-12:00
会場 順天堂大学A棟13階会議室
医療、教育現場でのダイバーシティ～日米比較国際シンポジウム～
特別講演 11:00-11:30
医療現場でのダイバーシティ
座長 順天堂大学放射線治療学講座 前任准教授 齋藤アンネ優子
演者 米国メイヨークリニック 放射線治療学講座教授 DR. KENNETH R. OLIVIER MD
パネルディスカッション 11:30-12:00
後援: 日本女性放射線腫瘍医の会 (JAWRO)



Olivier先生の基調講演

Olivier先生は、白人男性であり、お子さんも二人とも男性という、ダイバーシティ業務を行いそうな医師像から一番遠い印象ではありますが、「それが正しいことだから」という理由で、多数のダイバーシティ関連の業務に携わっておられます。特にその中でも大きな仕事としては、米国放射線専門会（American Board of Radiology）において、それまで女性だけが取得可能だった12週の育休の取得を、男性も可能とする法案を通したことです。子供を持つ男性の就業時間にメスを入れなければ、子育てはいつまで経っても女性だけが行う業務となってしまうからです。



パネルディスカッション

基調講演は、「なぜ男女共同参画が大切なのか？そのために、何が必要なのか」をわかりやすく解説する内容でした。特に興味深かったのが、主任教授への昇進を女性に打診すると、「自信がない」と断られることがしばしばあるが、その場合は、メイヨーでは、コーチをつけて自信をつけさせ、昇進させるようにしているというもの。そのためのコーチもメイヨーでは、常任しているということ。我々が考える男女共同参画の100歩先を行っている印象でした。

多くの方にご参加いただき、ありがとうございました。



学校法人 順天堂 男女共同参画推進室・女性研究者支援室

〒113-8421 東京都文京区本郷2丁目1番1号 ☎03-5802-1009 ✉ sankaku@juntendo.ac.jp

男女共同参画推進室HP <https://www.juntendo.ac.jp/kyodoss/>

女性研究者支援室HP <https://www.juntendo.ac.jp/jyosei/>